

# 男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け

観賞日 2018・8・6

制作 1976年 日本

上映時間 109分

監督 山田洋次

脚本 山田洋次、朝間義隆

音楽 山本直純

撮影 高羽哲夫

出演 渥美清（車寅次郎）、倍賞千恵子（さくら）、笠智衆（御前様）

太地喜和子（芸者ぼたん）、岡田嘉子（志乃）、宇野重吉（池ノ内青観）

## 【あらすじ】

甥の満男の小学校入学祝いのため故郷葛飾・柴又に帰ってきた寅さん。飲み屋でみすぼらしい老人を助け、とらやに連れ帰るが、その老人が日本画家の大家、池ノ内青観であることが判る。

仕事で旅に出た寅さんは播州・龍野で偶然、池ノ内と再会。その後、龍野で意気投合した芸者のぼたんが、上京し柴又を訪ねてくる。聞くと、以前貸した金を取り戻すためだという。

単純に悪に立ち向かい、奮闘する寅さんの姿にシンパシーを感じる人も多いのでは。今回は大物ゲストを迎えて、「笑って泣かせる人情喜劇」の決定版。

## 【解説】

### ■男はつらいよ（寅さんシリーズ）

- ・シリーズ全48作（1969年～1997年）

作品数としては世界最長の映画シリーズ

- ・豪華レギュラーキャスト（第1作）

渥美清（主人公・フーテンの寅）：この役はこの人しかいない

倍賞千恵子（主人公の妹・さくら）：松竹の看板女優

森川信（おいちゃん）：喜劇界の重鎮、本作では下條正巳

笠智衆（御前様）：監督がリスペクトする小津映画の主演

### ■本作 寅次郎夕焼け小焼け

- ・概要： 1976年制作・シリーズ第17作

シリーズ中でも第1作（マドンナ：光本幸子）、第15作（相合い傘

マドンナ：浅丘ルリ子）と並び評価の高い作品

- ・ゲスト：太地喜和子（マドンナ）、宇野重吉、岡田嘉子
- ・ロケ地：兵庫県たつの市（2005年合併により市名変更）
- ・見どころ：シナリオの良さ

主演、ゲストの個人芸の妙味が目立つシリーズであるが本作ではそれにも増して、シナリオが素晴らしい。